

マヨネーズの輸出

輸出数量・価額は、全国・近畿圏ともに増加！

全国の5割以上が近畿圏から！

〇はじめに

輸出統計品目表に「マヨネーズ」の項目が設けられて5年が経過しました。2016年以前はその他のソースとして扱われていたためマヨネーズとしての輸出動向は不明ですが、2017年からの5年分の貿易統計を見ると、全国・近畿圏ともに輸出数量・金額は増加しています。

今回は、マヨネーズの輸出動向をまとめました。

※本稿の「マヨネーズ」は輸出統計品目番号2103.90-400に分類されるものをいいます。

〇マヨネーズの定義

日本農林規格においては、1970年（昭和50年）にドレッシング類について規格が定められ、その後、何回かの改正が行われ、現在ではマヨネーズは次のように定められています。

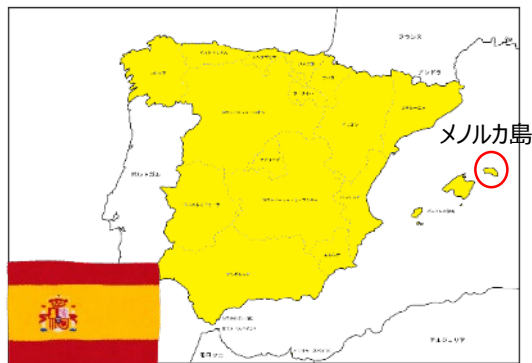
「半固体状ドレッシングのうち、卵黄又は全卵を使用し、かつ、必須原材料、卵黄、卵白、たん白加水分解物、食塩、砂糖類、蜂蜜、香辛料、調味料（アミノ酸等）及び香辛料抽出物以外の原材料及び添加物を使用していないものであって、原材料及び添加物に占める食用植物油の重量の割合が65%以上のものをいう。」



〇マヨネーズ発祥

マヨネーズの起源については諸説あり、明確ではないようですが、18世紀半ば、スペインのメノルカ島で生まれたとする説が有力のようです。

日本において初めて製造販売されたのは1925年（大正14年）のことでした。



プレイバック 150周年！

日本産マヨネーズが生まれた頃の近畿圏の貿易

1924年（大正13年）

主要輸出品目

神戸港		大阪港	
品名	価額（千円）	品名	価額（千円）
生糸	88,466	綿織糸	75,338
羽二重	52,826	生金巾・シーチング	71,782
ポソナー・富士絹	38,818	綾木綿	38,847
生金巾・シーチング	36,053	綿繻子	24,200
綾木綿	21,508	晒金巾・シーチング	14,365

主要輸入品目

神戸港		大阪港	
品名	価額（千円）	品名	価額（千円）
繰綿	422,452	繰綿	78,183
鉄板	54,460	木材 (バイン、ファー及びシスター)	33,331
毛織糸	53,743	砂糖	16,974
羊毛	52,338	米	10,343
米	30,051	羊毛	7,074

(参考)

- 羽二重（はぶたえ） 経緯に撚りのない生糸を使用した平織物で、製織後精練して仕上げる
- ボンジー 経緯に柞蚕（さくさん）糸を使った織物、またはその感触を模した斜子織のこと
- 富士絹（ふじぎぬ） 経緯に絹紡糸を使用した平織物
- 生金巾（なまかなきん） 生（無染色、無漂白）の綿織物
- シーチング 敷布用の晒した平織綿布
- 綾木綿（あやもめん） 織目が布目に斜めにあらわれる綿織物
- 晒金巾（さらしかなきん） 精練・漂白した綿織物
- 綿繻子（めんじゆす） 経糸と緯糸との交差点を少なくし、分散させて、布面に経糸あるいは緯糸を長く浮かせた綿織物
- 繰綿（くりわた） 繰綿車にかけ、種を取り去っただけの、まだ精製していない綿

(出典) 神戸港については、「神戸港150年の記録～貿易統計からみる貿易の変遷～」(神戸税関)

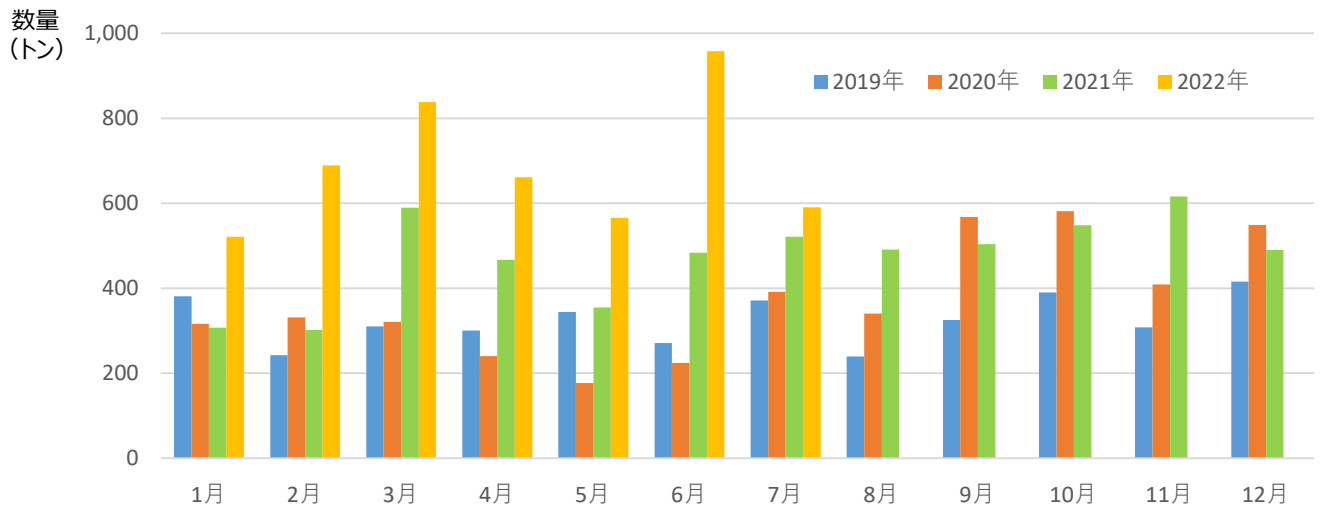
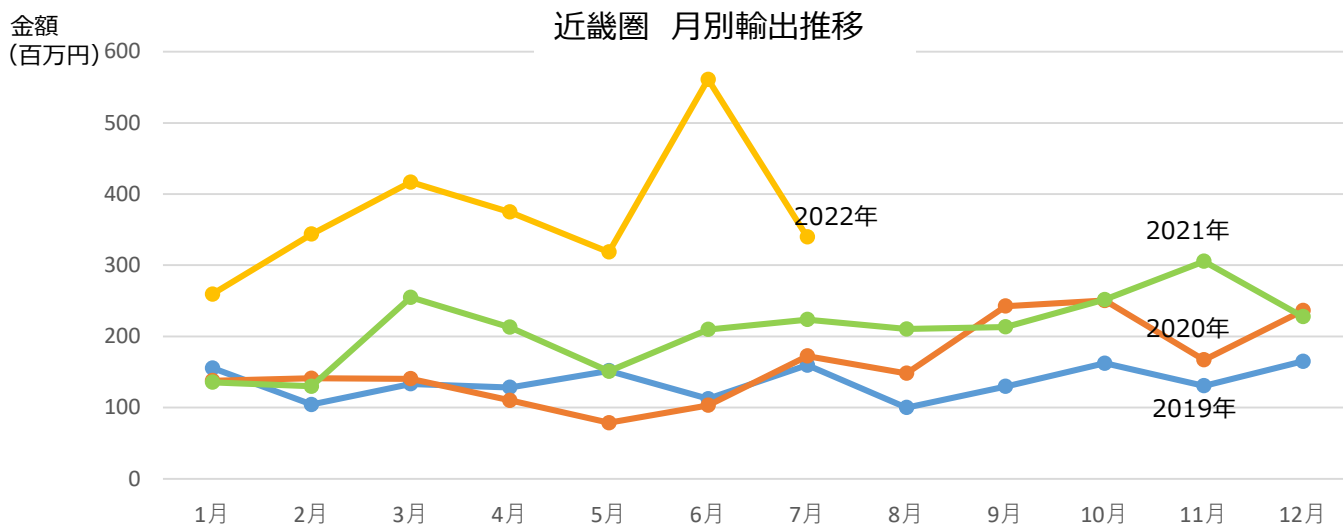
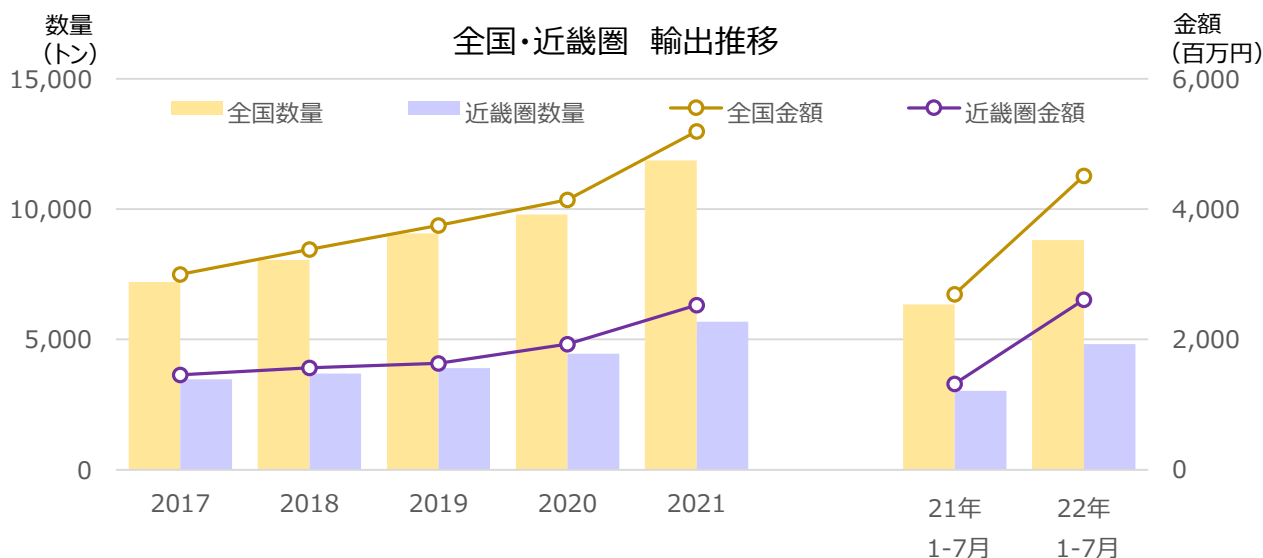
○輸出数量・金額の推移

2021年の輸出数量は全国が11,871トン（対前年比+21.2%）、近畿圏が5,676トン（同+27.6%）、輸出額は全国が52億円（同+25.4%）、近畿圏が25億円（同+31.0%）となり、いずれも2017年以降過去最高となりました。

2022年1-7月を見ても、数量は全国で+39.0%、近畿圏で+59.4%、金額は全国で+67.5%、近畿圏で+98.4%と前年を大きく上回る勢いで推移しています。

○マヨネーズの輸出が増えている要因

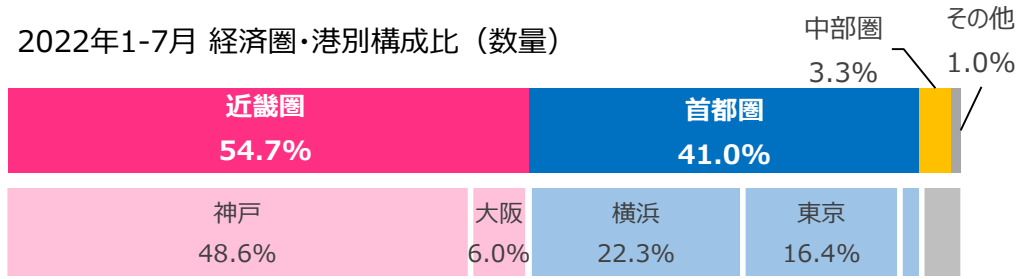
業界関係者によりますと、以前は日本産マヨネーズの味は海外の方には馴染みのないものですが、「SUSHI」をはじめとした日本食ブームによる日本食市場の拡大で、近年、海外において日本産マヨネーズに対する認知度・評価が上がってきているとのこと。また、新型コロナウイルス拡大による内食需要の増加がマヨネーズ輸出拡大に拍車をかけているようです。



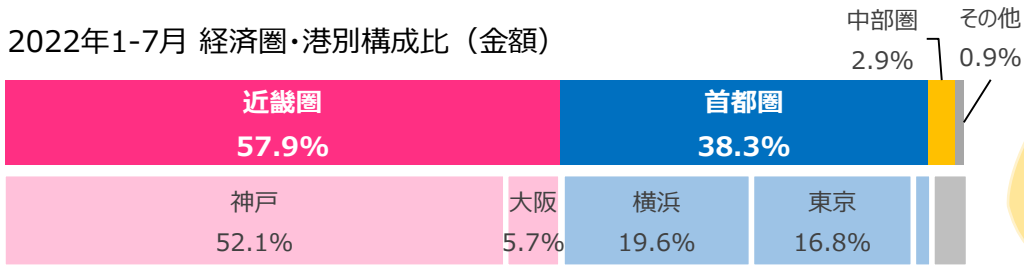
○経済圏別・港別動向

2022年1-7月の経済圏・港別の実績は、近畿圏のシェアが数量で54.7%、金額で57.9%といずれも全国の5割以上を占めており、港別では神戸港が数量、金額ともにその大半を占めています。輸送上の利便性の高さから、近畿圏の港が多く利用されているようです。

2022年1-7月 経済圏・港別構成比（数量）



2022年1-7月 経済圏・港別構成比（金額）

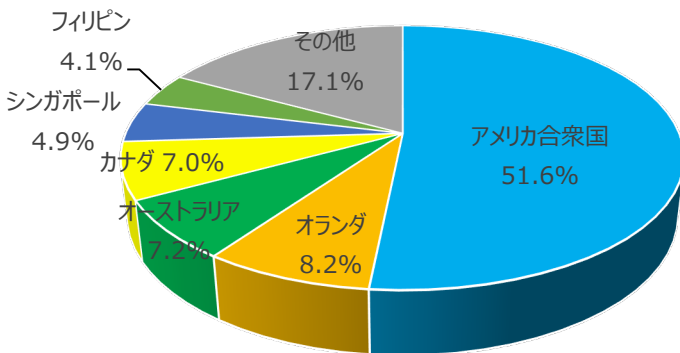


○主要仕向国別動向

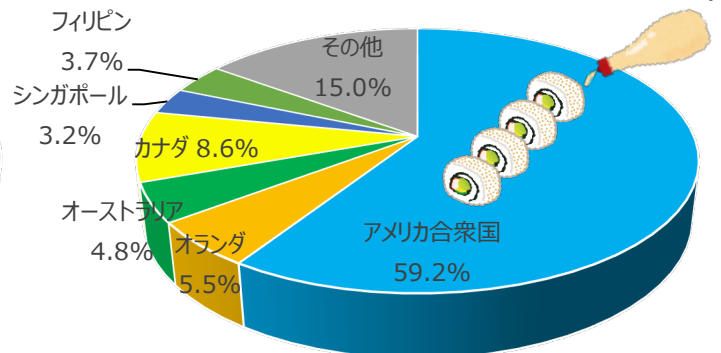
2022年1-7月の主要仕向国は、近畿圏ではアメリカ向けが数量で51.6%、金額で59.2%を占めています。また、オランダ、オーストラリア、カナダなどの欧米、大洋州向けのシェアが高いです。

業界関係者の話では、基本的にマヨネーズを食べる文化のある地域で日本産マヨネーズが受け入れられているとのことですが、現地のマヨネーズと日本産マヨネーズは別物と評価されており、「コクと旨味があるソース」として、カリフォルニアロールなどをはじめとする日本食用に広まっているようです。

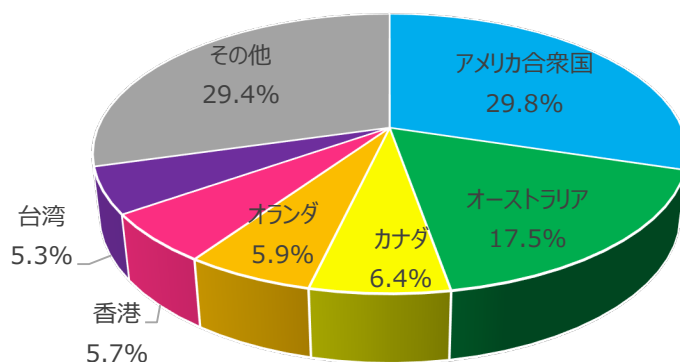
2022年1-7月 近畿圏 主要仕向国（数量）



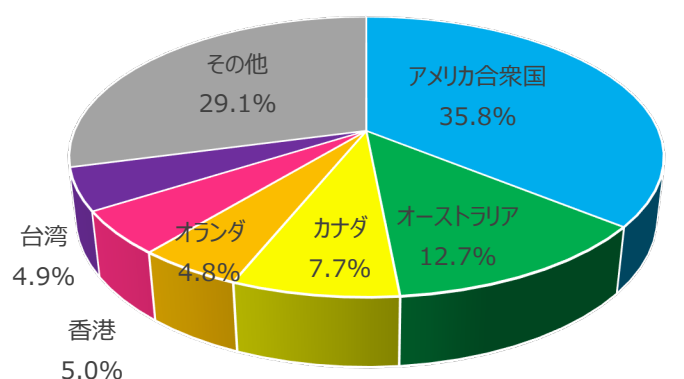
2022年1-7月 近畿圏 主要仕向国（金額）



2022年1-7月 全国 主要仕向国（数量）



2022年1-7月 全国 主要仕向国（金額）



○最後に

冒頭ご紹介したように、いつ頃からマヨネーズが輸出されるようになったか正確に把握することはできませんが、業界関係者によりますと、少なくとも30年以上の歴史があるようです。最初は日系レストランや現地日本人向けだったとのことですが、今では現地外国人にも日本の味として好まれているようです。

最近では、日本食ブーム、コロナ禍における内食需要といった側面もあり輸出が伸びていますが、長年海外向け輸出に地道に取り組んできたこと、また、輸出先国での規制に合致するように原材料を調整するなど、企業努力が功を奏した結果ということも言えそうです。

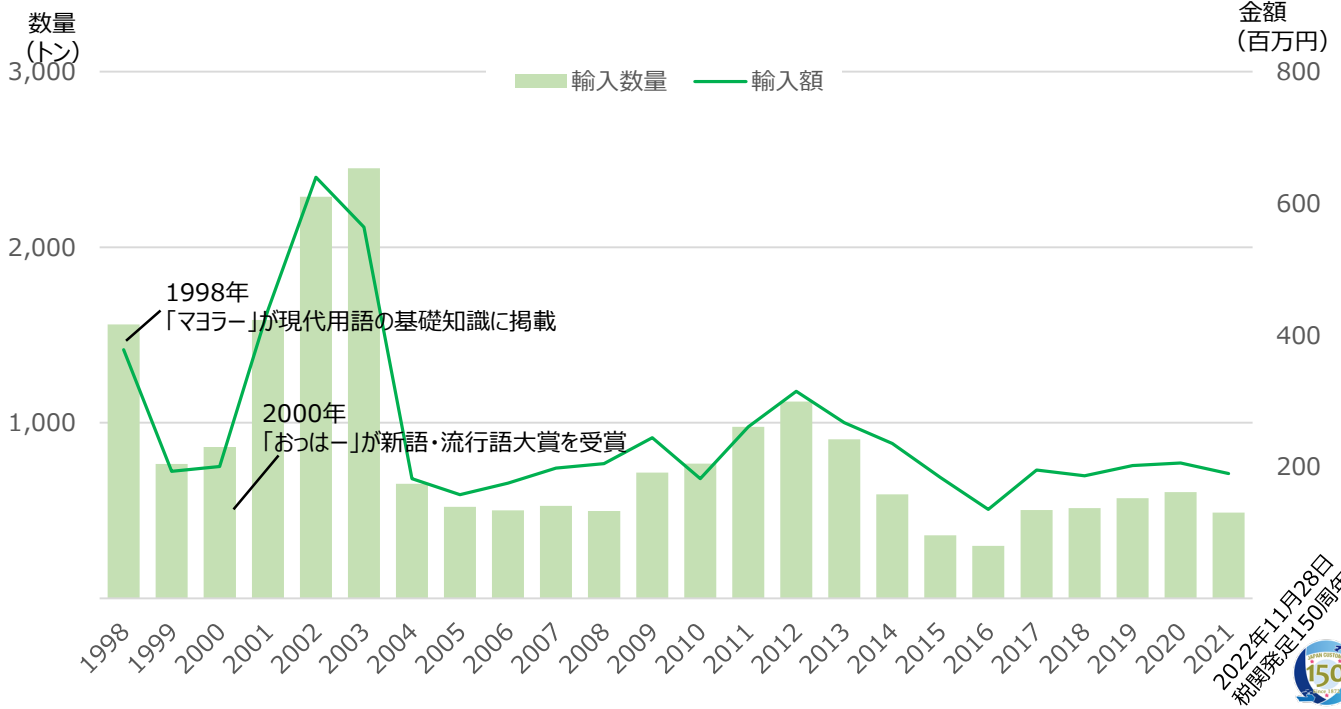
政府の「農林水産物・食品輸出拡大実行戦略」においても、

「マヨネーズ・ドレッシングについては、日本製の強み（おいしさ、繊細さ等）を活かす」として、それらの輸出拡大に注力しています。

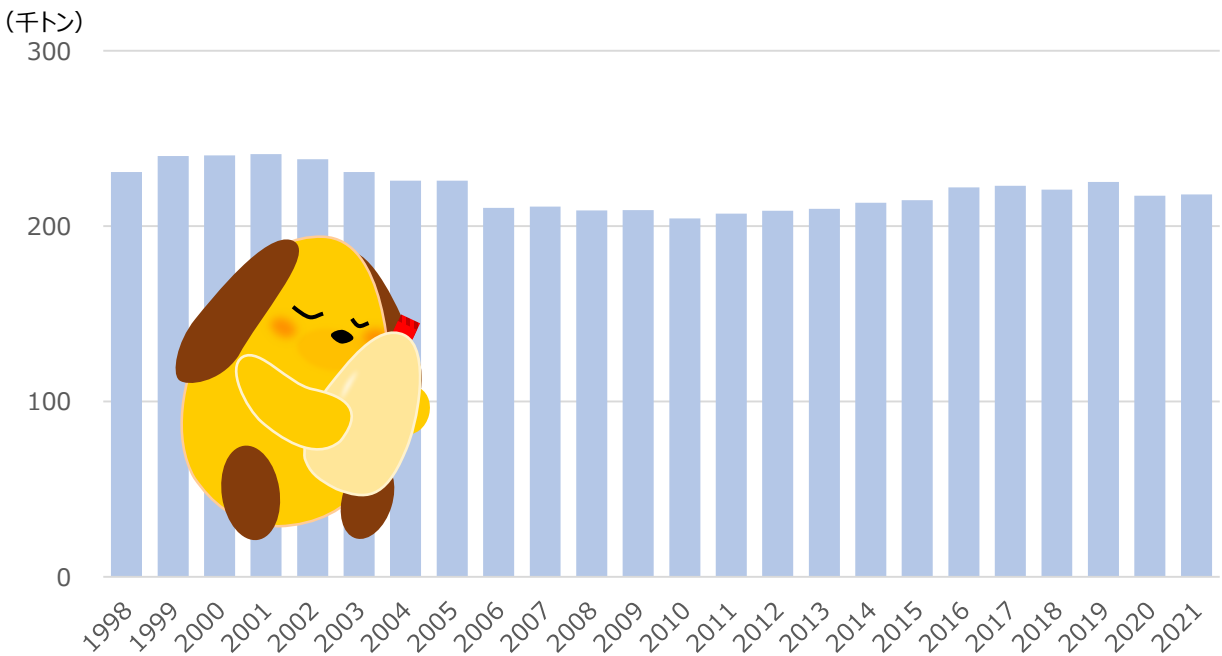
今後も日本産マヨネーズが世界中で愛されることを期待して👉

(参考)

マヨネーズの輸入（全国）



マヨネーズの国内生産量（農林水産省 食品産業動態調査）



【データ集】

輸出数量・金額推移

全国

近畿圏

年	数量 (トン)		金額 (百万円)	
		伸率		伸率
2017	7,208	-	3,002	-
2018	8,056	+11.8%	3,381	+12.6%
2019	9,069	+12.6%	3,750	+10.9%
2020	9,798	+8.0%	4,144	+10.5%
2021	11,871	+21.2%	5,198	+25.4%
2021年 1-7月	6,339	+49.1%	2,694	+48.4%
2022年 1-7月	8,812	+39.0%	4,514	+67.5%

年	数量 (トン)			金額 (百万円)		
		伸率	全国比		伸率	全国比
2017	3,473	-	48.2%	1,458	-	+48.6%
2018	3,692	+6.3%	45.8%	1,566	+7.4%	+46.3%
2019	3,898	+5.6%	43.0%	1,633	+4.3%	+43.5%
2020	4,449	+14.1%	45.4%	1,928	+18.1%	+46.5%
2021	5,676	+27.6%	47.8%	2,527	+31.0%	+48.6%
2021年 1-7月	3,026	+51.2%	47.7%	1,318	+49.1%	+48.9%
2022年 1-7月	4,824	+59.4%	54.7%	2,614	+98.4%	+57.9%

近畿圏月別推移

	2019年				2020年				2021年				2022年			
	数量 (トン)		金額 (百万円)		数量 (トン)		金額 (百万円)		数量 (トン)		金額 (百万円)		数量 (トン)		金額 (百万円)	
		伸率		伸率		伸率		伸率		伸率		伸率		伸率		伸率
1月	381	+37.6%	156	+35.8%	317	-16.9%	138	-11.4%	307	-2.9%	135	-1.6%	521	+69.6%	259	+91.5%
2月	242	-4.4%	104	+1.8%	331	+36.8%	141	+35.3%	302	-9.0%	130	-7.9%	689	+128.4%	344	+164.5%
3月	310	-7.7%	133	-6.4%	321	+3.5%	140	+5.5%	590	+83.8%	255	+81.5%	838	+42.2%	417	+63.4%
4月	301	+8.8%	128	+15.0%	240	-20.3%	110	-14.2%	467	+94.9%	213	+93.4%	661	+41.6%	375	+76.0%
5月	344	-7.5%	152	-5.6%	177	-48.7%	79	-48.1%	355	+101.0%	151	+91.8%	566	+59.4%	318	+110.7%
6月	271	-19.2%	112	-20.2%	225	-17.0%	103	-8.2%	484	+115.3%	210	+103.1%	958	+98.1%	561	+167.6%
7月	371	+16.1%	160	+13.8%	392	+5.6%	172	+7.9%	521	+33.0%	224	+29.8%	590	+13.2%	340	+51.9%
8月	239	-26.1%	100	-25.0%	340	+42.3%	148	+48.1%	491	+44.4%	210	+42.0%				
9月	325	+21.7%	130	+11.1%	568	+74.5%	243	+87.1%	504	-11.2%	213	-12.0%				
10月	390	+12.2%	162	+6.9%	581	+49.1%	251	+54.4%	548	-5.7%	252	+0.5%				
11月	308	-2.5%	131	-4.2%	409	+32.7%	167	+27.9%	616	+50.6%	305	+82.8%				
12月	416	+55.1%	165	+44.0%	549	+32.0%	236	+43.2%	490	-10.8%	228	-3.6%				

経済圏・港別構成比（2022年1-7月）

経済圏	港	数量 (トン)		金額 (百万円)	
			構成比		構成比
近畿圏		4,824	54.7%	2,614	57.9%
	神戸港	4,284	48.6%	2,350	52.1%
	大阪港	527	6.0%	257	5.7%
	その他	14	0.2%	6	0.1%
首都圏		3,610	41.0%	1,729	38.3%
	横浜港	1,965	22.3%	885	19.6%
	東京港	1,446	16.4%	758	16.8%
	その他	199	2.3%	86	1.9%
中部圏		288	3.3%	130	2.9%
その他経済圏		90	1.0%	40	0.9%
全国		8,812	100.0%	4,514	100.0%

仕向地別構成比（2022年1-7月）

全国

地域	国	数量 (トン)		金額 (百万円)	
			構成比		構成比
北米		3,189	36.2%	1,963	43.5%
	アメリカ合衆国	2,625	29.8%	1,617	35.8%
	カナダ	564	6.4%	346	7.7%
アジア		1,924	21.8%	874	19.4%
	香港	501	5.7%	225	5.0%
	台湾	470	5.3%	220	4.9%
	その他	953	10.8%	428	9.5%
大洋州		1,855	21.0%	732	16.2%
	オーストラリア	1,539	17.5%	572	12.7%
	その他	316	3.6%	161	3.6%
西欧		954	10.8%	417	9.2%
	オランダ	522	5.9%	218	4.8%
	その他	433	4.9%	199	4.4%
その他地域		890	10.1%	527	11.7%
世界		8,812	100.0%	4,514	100.0%

近畿圏

地域	国	数量 (トン)		金額 (百万円)	
			構成比		構成比
北米		2,825	58.6%	1,772	67.8%
	アメリカ合衆国	2,489	51.6%	1,547	59.2%
	カナダ	336	7.0%	224	8.6%
アジア		838	17.4%	377	14.4%
	シンガポール	236	4.9%	85	3.2%
	フィリピン	196	4.1%	97	3.7%
	その他	406	8.4%	195	7.5%
西欧		572	11.9%	210	8.0%
	オランダ	397	8.2%	145	5.5%
	その他	175	3.6%	66	2.5%
大洋州		398	8.3%	158	6.0%
	オーストラリア	348	7.2%	125	4.8%
	その他	50	1.0%	33	1.3%
その他地域		191	4.0%	98	3.7%
総計		4,824	100.0%	2,614	100.0%

○2022年（令和4年）1-7月分は確報値、2021年（令和3年）は確々報値、2020年（令和2年）以前は確定値となります。

○本特集における各経済圏は以下の都道府県を含むものになります。

近畿圏：大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県

首都圏：東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨の1都7県

中部圏：愛知、岐阜、三重、長野、静岡の5県

○港別の貿易額は、その港を管轄する税関官署の貿易額を集計したものととなります。

○価格はF O B価格で集計し、船舶（飛行機）出港の日をもって計上しています。

○表示単位未満は四捨五入、「0」は単位に満たないもの、「-」は実績なしのものを指します。

※本資料を他に転載するときは、大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

※本資料に関するお問い合わせは大阪税関調査部調査統計課までお願いします。

（電話06-6966-5385）